

第41回田川地区中学校新人体育大会 卓球競技 実施要項

- 1、主 催 田川地区中学校体育連盟 田川地区各市町村教育委員会
- 2、期 日 平成22年9月18日(土)、9月19日(日)
- 3、会 場 小真木原総合体育館
- 4、参加資格 田川地区中学校体育連盟の第1、第2学年在籍の生徒で、学校長の許可を得た者。
- 5、参加人員
 - *男、女団体戦 各校1チ-ム(4~9人)
 - *男、女個人シングルス「1、2年オ-プンの部」
各校2年生については全員出場を認める。
1年生については団体戦の登録メンバー
になっている選手のみ出場できる。

*男、女個人シングルス「1年の部」 人数制限なし
ただし、1、2年オ-プンの部とは
重複しないこと

- 6、競技規則
 - (1) 競技は平成22年4月1日一部改正の日本卓球ルール、同ルール細則に基づいて行う。但し、次の点を特別に定める。
 - (イ) 団体戦のベンチ入りは、選手9名、マネ-ジャ-(生徒)1名、監督(当該校の校長・教員)1名、学校長の承認を得た指導者1名、計12名以内とする。
 - (ロ) 個人戦ではアドバイザー-を選手一人につき1名(当該校の校長、教員、生徒、学校長の認めた指導者)認める。ただし、途中からのベンチ入りは認めるが、途中交替は認めない。また一度出たベンチに戻ることも認めない。
 - (ハ) 審判に対するアピ-ルは、団体戦では監督(いないときは主将)、個人戦では本人とする。
 - (ニ) 1ゲーム10分経過時に促進ルールを適用する。(9-9からは入らないが次のセットから入る)
 - (ホ) 服装は規定の半袖・短パンを着用し、背中にはゼッケンをつける。
ベンチの監督は選手同様のしっかりした衣類を着用する。
 - (ヘ) タオルの使用は、両者の得点合計が6の倍数の時のみ認める。
 - (ト) 競技者は1マッチのゲームとゲームの間に1分以内の休憩時間を要求することが出来る。
 - (2) 本大会は、新人県大会(北ブロック大会)の予選会も兼ねる。
団体戦は、男女とも上位2チ-ム、個人戦は男女とも「1・2年オ-プンの部」の上位8名とし、「1年の部」からは県大会に出場できない。
 - (3) その他、必要な事項は監督会議の時に打ち合わせをする。

7、競技方法(競技は全て11本の5ゲームズマッチで行う)

(1) 進行について

- ・9月18日(土)男女団体戦 予選リーグ~決勝リーグ(またはトーナメント)まで(午後4時頃 終了予定)
- ・9月19日(日)男女シングルス1回戦~決勝戦まで
閉会式 (午後3時頃 終了予定)

(2) ア 団体戦は原則として予選・決勝ともリーグ戦形式で行う。

ただし決勝についてはトーナメント形式もありうる。

予選リーグについては申し込み数によって、リーグの編成を決める。

イ 個人戦はすべてトーナメント形式で行う。

(3) 団体戦は1~2台進行を原則とするが、進行状況によっては3台使用をお願いすることもある。

(4) 団体戦は、4単1複とする。1・2・4・5番にシングルス、3番にダブルスを置く。選手は重複して出ることができない。

(5) 団体戦では、原則として6人の選手が必要であるが、次の規定により4人又は5人の出場も認める。

*4人の時は1・2番、5人の時は1番を棄権扱いとする。

*県大会の規定により、参加は予選リーグのみとし、決勝リーグおよび決勝トーナメントには出場できない(つまり県大会には出場できない)

(6) 選手の変更は認めない。

(7) 団体戦は3点先取とする。

(8) 試合球は日本卓球協会公認球(40mmオレンジ)とする(主催者側で用意する)

8、申し込み

(1) 申し込みは別紙の選手申し込み用紙に記入し、申し込む。

(2) 申し込み締切日 8月26日(木) 必着のこと Fax不可

(3) 申し込み先

〒997-0011 鶴岡市宝田二丁目8番34号
鶴岡第二中学校 高橋 弘文 宛
5 0 2 3 5 - 2 2 - 8 3 2 3

9、組み合わせ

*代表委員

斎藤 秀隆(鶴一) 佐藤 浩之(鶴三) 三澤 政行(櫛引)

田井地 仁(余目) 高橋 弘文(鶴二)

*代表委員会(組合せ会議)

9月 2日(木) 午後2:00より 鶴岡第二中学校

10、監督会議 9月18日(土) 8時30分よりステジ上で行う。

11、表彰 団体、個人シングルスとも、第3位まで表彰する。

12、その他 県大会について
北ブロック大会 10月16日(土) 最上地区
決勝大会 11月13日(土) 山形県総合運動公園体育館